

私はフランス語を学ぶため、フランスのストラスブールでの2週間の短期語学研修に参加してきましたが、この短い期間において私が学んだこと・獲得したことは主に3つあります。まず始めに、確実にフランス語の力が以前よりもついたらと実感しました。短期研修の一番の目的である、ストラスブール大学で受けるフランス語の授業では、フランス人がフランス語で話を進めていきました。これは、フランスでフランス語の授業を受け



ストラスブール大学の先生との写真

たり前のことですが、名古屋大学の言語文化の授業では日本人の先生が日本語で解説していたため、授業を受けている生徒がみな日本語を話すことができるような環境の中でフランス語でしか話したり聞いたりできない状況はとても新鮮に感じられました。また、生活していく際にフランス語でフランス人と会話する機会も多く、日常生活の中でフランス語を使うのは非常に刺激のあるものでした。このように毎日朝から晩までフランス語づけの生活していくうちに、フランス人の会話の中で頻繁に出てくる単語やフレーズを聞き取り、それがどういう意味なのかを感覚的に学び、日が経つにつれ語彙の幅が広がっていきました。それだけ

だけでなく、フランス人と会話を交わすときは、言葉の使い方があっているか、正しい単語を使っているかなどをいちいち考えているのはコミュニケーションが図れないため、とにかく積極的に話して意見や意思を相手に伝えようとする意志が大事なのだと痛感しました。大学のフランス語の先生や町の店員さん、寄宿舎のスタッフや家庭訪問先の方々といった、今回の研修で出会った多くのフランス人は、私が何かを伝えようと数少ないフランス語の知識を振り絞ってフランス語を話すと、それに応えて私の意思を汲み取ろうとしてくれて、フランス語を間違える恐怖や不安が一気になりました。そのおかげでフランス語の練習をフランス人とたくさんすることができ、結果的にフランス語の能力の向上につながったと考えています。



次に、この2週間でフランス・アルザスの文化・歴史について多くのことを学びました。これは文化事情Iの抗議を受けた際に学んだ基礎知識があったからこそ、現地に行ったときに理解が深まったのではないかと思います。今回一番重要となった知識は、フランスとドイツとの間でアルザスの領土の奪い合いが何世紀にも渡って行われていたことでした。そのような時代背景がもとで、アルザスに住む人の中でドイツ由来の名字を持っている人がいたり、今は衰退しているものの、アルザス語を話せる人がいたり、またフランスとドイツの平和の象徴としてストラスブールに欧州評議会が設置されていたりします。ストラスブールの歴史博物館で一番衝撃を受けたのは、研修中に



欧州議会内

一度訪れた Le palais universitaire de Strasbourg という、ストラスブール大学の代表的な建物がナチスによって制圧され、式典が行われている様子を描いた絵があったことでした。世界史などで学んだ出来事が実際に行われた場所に足を運んだという事実にびっくりし、同時に時代の流れを感じました。



シュークルート

他にも、この短期研修でアルザスのいろいろな文化、主に食文化に触れることができました。家庭訪問ではアルザスの伝統料理をふるまってもらい、街中にあるレストランでもアルザス料理を楽しみ、アルザス地方特産の白ワインを味わうことができました。アルザスの伝統料理のひとつであるシュークルートは、もともとドイツのザワークラウトが由来で、キャベツの漬物ということでシュー(chou)、クラウトがクルートとなまってシュークルートとして広まったと聞いて、外国の言語を学ぶ楽しさを改めて実感することができました。



最後に、私はストラスブールでたくさんの友達を得ることができたことがこの短期語学研修で得た大きなものだと思います。まず、研修に参加する前は、共にフランスに行く同級生や2年生と上手くなじめるのかどうか不安でしたが、みなフランスに語学研修にくるだけあってフランス語を一生懸命勉強するひとばかりですぐに気が合い、友達になることができました。休み時間に遊びに行ったお店の話や街中での出来事など、その日に経験したことなどをお互いに話して情報を共有したり、一緒にご飯を食べたりと、思い思いにストラスブールでの生活を楽しむ仲間と刺激しあうことで、毎日充実した日々を送ることができました。研修仲間もそうですが、さらにフランス人の友達、知り合いができたことが何よりもうれしかったです。日本語を学ぶストラスブールの大学生と交流したときや、その中の数人で食事をしに行ったときに、日本が大好きで一生懸命日本語を勉強する人や、日本で叶えたい夢があるため、



日本語をがんばって習得しよう 日本語学科の学生との交流

とする熱心な人など、日本語学

科の学生が自分とは比べ物にならないくらい勉強をしているのを知り、私自身も彼らに負けずにフランス語を勉強したいと素直に思えました。この研修で出会ったフランス人の友達のことを忘れずにこれからもフランス語の勉強を続けて、近い未来フランス語を習得したいと思います。

